

WAVEFORCE™

PCIサウンドカード

[ウェーブフォース]

セットアップガイド

安全上のご注意 ご使用の前に、必ずこの「安全上のご注意」をよくお読みください。

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくご使用いただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。

注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」と「注意」に区分しています。いずれもおお客様の安全や機器の保全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。

記号表示について

-  記号は、危険、警告または注意を示します。
-  記号は、禁止行為を示します。記号の中に具体的な内容が描かれているものもあります。
-  記号は、行為を強制したり指示したりすることを示します。記号の中に具体的な内容が描かれているものもあります。
*お読みになった後は、使用される方がいつでも見られる所に必ず保管してください。



警告

この表示内容が無視した取り扱いをすると、死亡や重傷を負う可能性が想定されます。



サウンドカード上の基盤部分やコネクタ部に無理な力を加えたり、部品を分解したり改造したりしない。

感電や火災、または故障などの原因になります。



サウンドカードを取り付ける前に、必ずコンピューターの電源プラグを抜く。

電源を接続したまま取り付けるを行うと、感電の原因になります。



注意

この表示内容が無視した取り扱いをすると、傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定されます。



サウンドカードを持つときは、前もって他の金属に触れるなどして、静電気が起きないように注意する。

静電気が発生すると、カードの故障の原因になります。



他の機器と接続する場合は、全ての機器の電源を切った上で行う。また、電源を入れたり切ったりする前に、必ず機器のボリュームを最小(0)にする。

感電または機器の損傷のおそれがあります。



直射日光の当たる場所(日中の車内など)やストーブの近くなど極端に温度が暖かくなる場所、逆に温度が極端に低いところ、極端に湿度の高いところ、またほこりや振動の多いところで使用しない。

内部の部品が故障する原因となります。



テレビやラジオ、スピーカーなど他の電気製品の近くで使用しない。

デジタル回路を多用しているため、テレビやラジオなどに雑音が生じる場合があります。



大きな音量で長時間ヘッドフォンを使用しない。

聴覚障害の原因になります。



作成したデータはこまめにフロッピーディスクに保存する。

作成したデータは、故障や誤動作などのために失われることがあります。大切なデータは、必ずフロッピーディスクに保存することをおすすめします。

不適切な使用や改造により故障した場合の保障はいたしかねます。また、データが破損したり失われたりした場合の保障はいたしかねますので、ご了承下さい。

電波障害自主規制届出装置の記述

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協会(VCCI)の基準に基づく第二種情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

はじめに

このたびは、ヤマハPCIサウンドカード ウェーブフォース(WF192XG)をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

ウェーブフォースは、ヤマハ製最新チップセットを使用した高性能PCIバスサウンドカードです。ゲームや音楽を中心としたさまざまなマルチメディアソフトウェア用のハイクオリティな音源として幅広くご利用いただけます。ウェーブフォースをお使いいただくために、まず本書をご活用いただきますようご案内申し上げます。また、ご一読いただいた後も不明な点が生じた場合に備え、本書を大切に保管いただきますようお願い申し上げます。

ご使用になる前に

パッケージの内容

まず、ウェーブフォースをご使用になる前に、パッケージの内容をご確認ください。(万一付属品に不足がある場合は、すぐに購入店までご連絡ください。)

- WF192XGサウンドカード
- WF192XG Installation Wizard CD-ROM
- セットアップガイド(本書)
- PC/PCIケーブル
- 保証書

Adobe Acrobat Readerのインストール

この取扱説明書では、サウンドカードのセットアップ、ドライバや付属アプリケーションソフトのインストールについてを簡単にご説明します。さらに詳しい内容やその他の役立つ情報については、付属のWF192XG Installation Wizard CD-ROM上に用意されているオンラインマニュアルをご参照ください。

付属のWF192XG Installation Wizard CD-ROM上に用意されているオンラインマニュアルにアクセスするためには、ご使用のコンピュータ上に「Adobe Acrobat Reader」をインストールする必要があります。

Adobe Acrobat Readerは、以下の要領でインストールします。

- ① ご使用になるコンピュータのCD-ROMドライブに、WF192XG Installation Wizard CD-ROMをセットします。
- ② CD-ROMの中の「doc」フォルダを開き、その中の「jpn」フォルダ 「acr」フォルダを開きます。
- ③ インストーラーアイコン「ar32j30a.exe」をダブルクリックします。
- ④ 表示されるメッセージに従って、アプリケーションをインストールします。

Acrobat® Reader copyright©1987-1996 Adobe Systems Incorporated. All rights reserved.
AdobeおよびAcrobatはアドビシステムズ社の商標です。

ウェーブフォースをセットアップする前に

サウンドカードの取り付けやドライバのインストールを行う前に、インストールしたAcrobat Readerを使って、WF192XG Installation Wizard CD-ROMのオンラインマニュアルをご参照ください。CD-ROMの中の「doc」フォルダを開き、その中の「jpn」フォルダを開くと、オンラインマニュアル(.pdfファイル)があります。.pdfファイルをダブルクリックすると自動的にAcrobat Readerが起動し、オンラインマニュアルを読むことができますようになります。なお、サウンドカードを取り付けている間は、コンピュータの電源を切らなければならないので、画面上でオンラインマニュアルを読むことができません。必要な部分はあらかじめプリントアウトしておきましょう。

NOTE オンラインマニュアルをプリントアウトするには、Acrobat Readerの[ファイル]メニューから[プリント]コマンドを選択します。

また、コンピュータ本体のカバーの外し方やPCIスロットの位置などは、コンピュータによってそれぞれ異なります。お使いのコンピュータのマニュアルを参照して、PCI拡張カードの取り付け手順を一通り確認しておいてください。

シリアルナンバー(製造番号)について

サウンドカードには、シリアルナンバー(製造番号)が印刷された小さなステッカーが貼り付けてあります。万一の故障などで保証書をお使いになる場合、このシリアルナンバーが必要になりますので、サウンドカードをコンピュータに取り付ける前に、あらかじめシリアルナンバーを保証書の「製品番号」の欄に書きとめておいてください。

サウンドカードの取り付けについて

サウンドカードの取り付け方法について詳しくは、付属のWF192XG Installation Wizard CD-ROM上のオンラインマニュアルをご参照ください。なお、サウンドカードを取り付ける前に、ご使用のコンピュータのPCIカードスロットに空きがあるかどうかをご確認ください。すでに他のPCIカードが取り付けられているスロットを使用する場合、そのカードのドライバソフトウェアを取り除いた後、電源を切ってPCIカードをスロットから取り外してください。その後、コンピュータを再起動することによって、今まで取り付けであったカードが完全に取り除かれたことをコンピュータに認識させます。

ドライバソフトのインストール

サウンドカードを使用するには、適切なドライバ(ヤマハDS-XGドライバ)をインストールする必要があります。お使いのコンピュータのOSに応じて、以下の手順でDS-XGドライバをインストールしてください。

NOTE Windows95をお使いの場合、OSR2とそれ以前のWindows95とはドライバのインストール手順が異なります。

Windows95 (4.00.950または4.00.950a)の場合

ウェーブフォースサウンドカードは、Windows95のプラグアンドプレイに対応しています。サウンドカードを取り付けた後、初めてコンピュータの電源を入れると、新しく取り付けられたカードを自動的に検知して、「新しいハードウェア」ダイアログが表示されます。

- ① WF192XG Installation Wizard CD-ROMをCDドライブに挿入し、「ハードウェアの製造元が提供するドライバ」を選択して[OK]をクリックします。
- ② フロッピーディスクを挿入するようメッセージが表示されます。DS-XGドライバはCD-ROMからインストールするので、[参照]をクリックします。

- ③ CD-ROMドライブの中のdrivers ¥ win95 ¥ Japaneseフォルダを選択し、[OK]をクリックします。

これでDS-XGドライバのうち、DS-XG Device Managerのインストールは完了です。続けてPCI Audio Codec、Legacy Sound System、Legacy Game Portが自動的にインストールされます。

- ④ ジョイスティックのドライバをインストールしていない場合は、「ディスクの挿入」が表示されます。Windows95のCD-ROMまたはフロッピーディスクをドライブに挿入し、[OK]をクリックして、ジョイスティックのドライバをインストールします。

これで、DS-XGドライバのインストールはすべて完了です。

Windows95 OSR2 (4.00.950b)の場合

ウェーブフォースサウンドカードは、Windows95のプラグアンドプレイに対応しています。サウンドカードを取り付けた後、初めてコンピュータの電源を入れると、新しく取り付けられたカードを自動的に検知して、「デバイスドライバウィザード」ダイアログが表示されます。

- ① WF192XG Installation Wizard CD-ROMをCDドライブに挿入し、[次へ]をクリックします。
- ② デバイスドライバウィザードの表示が「このデバイス用のドライバが見つかりませんでした。」に変わります。[場所の指定]をクリックします。
- ③ [参照]をクリックし、CD-ROMドライブの中のdrivers ¥ win95 ¥ Japaneseフォルダを選択し、[OK]をクリックします。
- ④ デバイスドライバウィザードの表示が「このデバイス用の更新されたドライバが見つかりました。」に変わります。「YAMAHA DS-XG Device Manager」と表示されていることを確認して、[完了]をクリックします。
- ⑤ ディスクを挿入するようにメッセージが表示されますが、そのまま[OK]をクリックします。
- ⑥ 「ファイルのコピー」ダイアログが表示されたら、「ファイルのコピー元」のボックスに「D: ¥ drivers ¥ win95 ¥ Japanese」と入力します。

NOTE CD-ROMドライブがDドライブ以外の場合は、実際のドライブ名をボックスの最初に入力します。例)「E: ¥ drivers ¥ win95 ¥ Japanese」「F: ¥ drivers ¥ win95 ¥ Japanese」

入力したら、[OK]をクリックします。

これで、DS-XGドライバのうち、DS-XG Device Managerのインストールは完了です。続けてPCI Audio Codec、Legacy Sound System、Legacy Game Portが自動的にインストールされます。

- ⑦ ジョイスティックのドライバをインストールしていない場合は、「ディスクの挿入」が表示されます。Windows95のCD-ROMまたはフロッピーディスクをドライブに挿入し、[OK]をクリックして、ジョイスティックのドライバをインストールします。

これで、DS-XGドライバのインストールはすべて完了です。

Windows 98の場合

ウェーブフォースサウンドカードは、Windows 98のプラグアンドプレイに対応しています。サウンドカードを取り付けた後、初めてコンピュータの電源を入れると、新しく取り付けられたカードを自動的に検知して、「新しいハードウェアの追加ウィザード」ダイアログが表示されます。

- ① WF192XG Installation Wizard CD-ROMをCDドライブに挿入し、[次へ]をクリックします。検索方法を選択する画面が表示されます。
- ② 「使用中のデバイスに最適なドライバを検索する(推奨)」を選択し、[次へ]をクリックします。検索場所を指定する画面が表示されます。
- ③ 「検索場所の指定」を選択し、[参照]をクリックします。「フォルダの参照」ダイアログが表示されます。
- ④ CD-ROMドライブの中のdrivers¥win95¥japaneseフォルダを選択し、[OK]をクリックします。「新しいハードウェアの追加ウィザード」ダイアログに戻りますので、[次へ]をクリックします。
- ⑤ 「新しいハードウェアの追加ウィザード」に「YAMAHA DS-XG Device Manager」と表示されていることを確認して、[次へ]をクリックします。

これでDS-XGドライバのうち、DS-XG Device Managerのインストールは完了です。続けて、PCI Audio Codec、Legacy Sound System、Legacy Game Portが自動的にインストールされます。

- ⑥ ジョイスティックのドライバをインストールしていない場合は、「ディスクの挿入」が表示されます。Windows 98のCD-ROMまたはフロッピーディスクをドライブに挿入し、[OK]をクリックして、ジョイスティックのドライバをインストールします。

これで、DS-XGドライバのインストールはすべて完了です。

Windows NT4.0の場合

Windows NT4.0にDS-XGドライバをインストールする場合は、以下の手順に従ってください。

- ① ウェーブフォースサウンドカードを取り付けた後、Windows NT4.0を起動します。
- ② タスクバーの[スタート]ボタンをクリックします。
- ③ マウスポインタを[設定]に移動して反転表示させ、[コントロールパネル]をクリックします。
- ④ コントロールパネルの中の「マルチメディア」アイコンをダブルクリックします。
- ⑤ マルチメディアのプロパティで、「デバイス」タブをクリックします。
- ⑥ リストの中に、DS-XGのオーディオデバイスが表示されていないことを確認して、[追加]をクリックします。

NOTE DS-XGのオーディオデバイスがリスト上に存在しているかどうかを確認するには、リストの中の「オーディオデバイス」をダブルクリックします。もしもDS-XGのオーディオデバイスが表示されていたら、そのデバイスをクリックして選択し、[削除]ボタンをクリックします。確認のメッセージが表示されたら[はい]をクリックし、コンピュータを再起動させます。Windows NT4.0が起動したら、再度上記手順に従って「デバイス」のページを開き、[追加]をクリックして次の手順に進んでください。

⑦ 「追加」ダイアログが表示されますので、「一覧にない、または更新されたドライバ」をクリックして、[OK]をクリックします。

⑧ 「ドライバのインストール」ダイアログが表示されますので、WF192XG Installation Wizard CD-ROMをCDドライブに挿入します。ボックスの中に「D:¥ drivers¥ winnt」とタイプ入力します。

NOTE CD-ROMドライブがDドライブ以外の場合は、実際のドライブ名をボックスに入力します。例)「E:¥ drivers ¥ winnt」「F:¥ drivers¥ winnt」

入力したら、[OK]をクリックします。

⑨ 「一覧にない、または更新されたドライバの追加」ダイアログが表示されますので、リストの中からご希望の言語を選択し、[OK]をクリックします。

⑩ すでにドライバが存在していますというメッセージが表示された場合は、そのまま新しいドライバをインストールしてください。

⑪ 「YAMAHA DS-XG オーディオドライバ」ダイアログが表示されますので、MPU401 I/Oアドレス、IRQ、FM I/Oアドレス、ジョイスティックI/Oアドレスが正しく設定されていることを確認してください。確認したら、[OK]をクリックします。

⑫ 「システム設定の変更」ダイアログボックスが表示されますので、コンピュータを再起動します。

これで、DS-XGドライバのインストールは完了です。

コントロールパネルのマルチメディアのプロパティで、MIDI出力の機器として「YAMAHA DS-XG SynthesizerのMIDI」を選択してください。

Audio Testing Programについて

Installation Wizardを使って、Audio Testing Programを起動することで、正常に音出しできるが確認することができます。Installation Wizardを起動するには、CD-ROMの中の一番上の階層(ルートディレクトリ)にstartup.exeアイコンがありますので、それをダブルクリックします。あとは、画面の指示に従ってAudio Testing Programを選択して起動してください。

付属アプリケーションソフトについて

WF192XG Installation Wizard CD-ROMには、サウンドカードを使って楽しめるさまざまなアプリケーションソフトが含まれています。各アプリケーションソフトについて詳しくは、WF192XG Installation Wizard CD-ROM上のオンラインマニュアルをご参照ください。オンラインマニュアルで説明されている手順に従って、使いたいアプリケーションをインストールすることができます。

NOTE 付属アプリケーションソフトXGworks liteをインストールする際、途中でシリアル番号を入力する画面が表示されます。その場合はWF1A01290687と入力してください。

WAVEFORCEのDOS用ゲームソフトウェアへの対応

PCIバスにはDOSプログラムに必要なISA DMAとIRQといったリソースがありません。このため、PCIカードであるWAVEFORCEカードではDOSアプリケーションに対する完全な互換性は保証されておりません。ただし、DOSプログラムからWAVEFORCEを使えるよう、WF192XGには次の2種類の方法が用意されています。

- ・ DOSボックス (WindowsのMS-DOSプロンプト)
- ・ PC/PCI

PC/PCIは、WindowsのMS-DOSプロンプトではないMS-DOSリアルモード (リアルDOS、ピュアDOSなどと呼ばれることもあります) でWAVEFORCEを使う方法です。

PC/PCIを利用するには、特定のマザーボードやチップセットが必要です。

WAVEFORCEのWebサイト (<http://www.yamaha-is.co.jp>) でTSRドライバの配付が予定されています。

発売元



株式会社 **ワイズ**コーポレーション

本 社 〒430-7725 浜松市板屋町111-2 浜松アクタワー25F
Tel. (053)456-1320(代) Fax. (053)456-2680

東京支店 〒102-0074 東京都千代田区九段南4-7-16 市ヶ谷KTビル
Tel. (03)3234-1271(代) Fax. (03)3234-1272

大阪支店 〒541-0053 大阪市中央区本町3-3-9 本町岩尾ビル
Tel. (06)252-7551(代) Fax. (06)252-7553

中部支店 〒430-7725 浜松市板屋町111-2 浜松アクタワー25F
Tel. (053)456-1320(代) Fax. (053)456-2680

URL <http://www.yamaha-is.co.jp>
Email info@act.yamaha-is.co.jp

PATENTS: USP4967635	USP4520708	USP5117729
USP4731835	USP4738179	USP5438156
USP4584921	USP5477004	USP5131310

M.D.G., EMI Division © Yamaha Corporation 1998